

日時 : 2011.4.5 (Tue) 18:30~23:00

場所 : ジョイナス3階 (千秋公園) 研修室4

人数 : 20人強

1. 現地報告



被災地の写真を見せながら説明。詳しくは、菊地さんや住吉さんのブログを参照。

<http://bit.ly/hGRFw7> (菊地さんの報告)

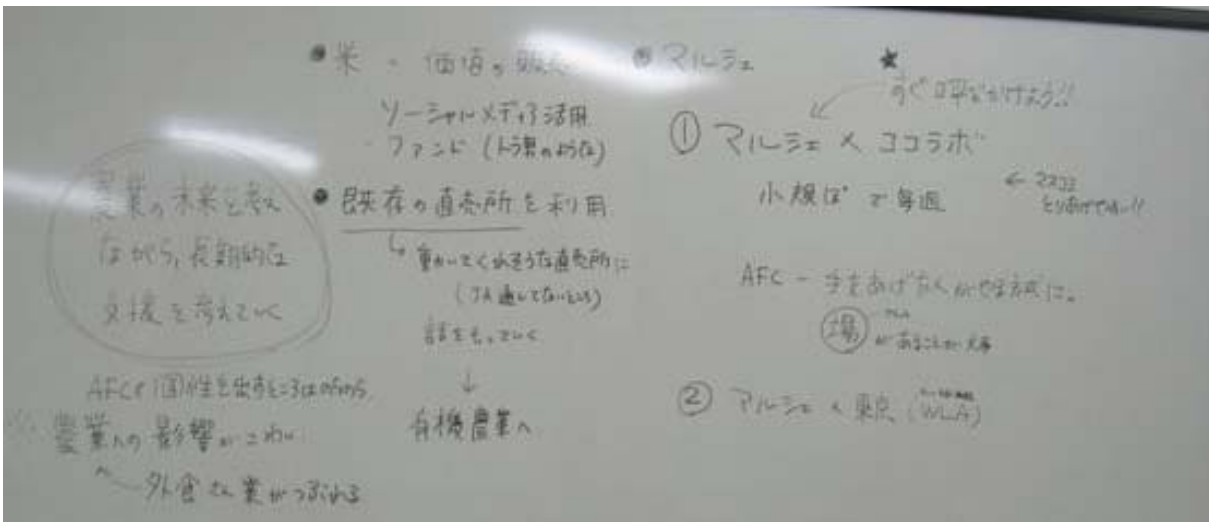
<http://sumiyoshi-tezukuri.blog.ocn.ne.jp/blog/> (菊地さんと一緒に行った住吉さんの報告)

2. 報告後の意見交換

- ・ **今回の震災は特別。** 行政が被害を受け、物理的に機能できなくなっている
- ・ 例えば、陸前高田は、
 - ・ 行政が機能していない。180人中、80人が行方不明。防災課も2/3が行方不明。
 - ・ 物理的 (人数的に)、災害時のマニュアルは行政が持っているが、機能しない状態。
 - ・ 残った職員は不眠不休でがんばっている。
- ・ 大槌、陸前高田、宮城南陸など、いろいろな地域で窓口がなくなっている。
- ・ 被災者の中でリーダーなどを決め、動いている状態。
効率的な人員配置が出来ていない。(マニュアルがないため)
- ・ 3週間過ぎて秋田県職員が被災地に行ったがもう仕切りはできている状態。炊事などの手伝いをした。
- ・ 今回のように、行政機能が動かない事態は今後も起こりえる→プランBを作っておくべき。
- ・ **行政=全体に強い 民=部分的なところに強い 上手に協働するといい。**
- ・ 避難所は、南北500kmに渡って、2300か所ある。
- ・ 男鹿の住吉さんのような現地で支援する人と直につながってはどうか。
- ・ **被災地で必要なものは、刻々と変わっている。場所によっても様々。**
- ・ 今は、カップや土嚢袋、ゴミ袋などが求められている地域がある。
- ・ パドラーズが、毎週土日に被災地に行って支援する活動を行っている。自宅で過ごされている方を訪ねて、必要なものを聞き出し、翌週持っていく、という活動をしている。
- ・ 自分の生業を上手く回しながら、支援するにはどうすれば??

- ・被災地にボランティアに行く時は、
 - ①組織化されていて、②衣食住は自己完結でき、③やる事が明確で、④やる覚悟があるが必要。
- ・被災地では、炊き出し補助やトイレの清掃など誰でもできる仕事もある。話すだけでも支援になる。
仕事は無数にある状態。
- ・グリーンツーリズムに取り組む方々が、炊き出しに行ったりしている。
- ・被災地の小さい団体は、秋田の市町村と連携してはどうか。
- ・被災者の「自立」を目指すことが必要。
- ・消耗品はトイレトーパーや尿と理パッドなどまだ必要な状態。
- ・REFARM（北海道）は、震災10日後にマルシェ出店。→3日で50万円寄付できた。
出店料は0円。売上全額寄付。農家は農作物を寄付。
今回のような緊急な支援は、もともとあるものに乗っかるのが1番早い。
※出店するにあたって議論になったのは、
農家も出店料も寄付している。購入する人も寄付するように価格を高くした方がいいのでは？
売名行為になるのでは？批判につながるのでは？ など

3. AFCで何をしていくのか？



- ・秋田の農業は、地震前から大変な状態だった。
 - 農業の活性化のために、マルシェをもっと広げる、対面販売を進める、をしようと思っていた。
- ・継続的な震災支援をしながら、秋田の農業の未来を作っていくことはできないか？
- ・例えば、週1でマルシェを開催し、出展者はローテーションにするなど。
- ・AFCはまだ組織体制がない。
- ・全額寄付にするのではなく、50%寄付、10%AFC、40%被災地の利益になる活動に充てるなど。
- ・ココラボラトリーの人と一緒にやっていければ、という話をしている。
ブースのデザイン、アートなどを活用し、商品として復興支援が感覚的にわかるようにしたい。
アーティストのマッチングをココラボでもらえれば。
※例えば、お米は36,500円にし、1日100円×365日寄付する感覚でお金を買ってもらおう など
- ・デザインと農作物と支援の組み合わせだと、メディアも取り上げやすい。

- ・ずっと注目され続ける取り組みをすることは、難しい。
- ・昨年や一昨年のお米がまだある人もいるので、「今あるモノを出す」ことも大事。
- ・支援もいろいろあるが、今すぐにした方がいいモノもある。
→すでにあるモノに乗っかってはどうか。例えば直売所。すぐ出せる農家さんに交渉し支援を頼む。
通販や県内流通などもできる。
- ・場所は、車で行けるような広い場所か駅の方がいいのでは。
- ・明德館でも高校生で農作物販売をしているが、売り上げはいい。
- ・すぐできることとして、支援してくれそうな農家さんリストを作ってみてはどうか。
- ・AFCでは、農業の未来を見通しながら、長期的な支援をしていく活動をしていってはどうか。